

愛知医科大学加齢医科学研究所で病理解剖あるいは病理診断をうけた患者さんのご家族へ

愛知医科大学加齢医科学研究所では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	神経筋変性疾患の遺伝子解析研究
研究機関名	愛知医科大学 医学部
研究機関の長	医学部長 若槻明彦
担当科等	加齢医科学研究所
研究責任者	特命研究教授 吉田眞理
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	東京大学医学部附属病院神経内科 石浦浩之
研究の意義・目的	神経筋変性疾患(中枢神経疾患、末梢神経疾患、筋疾患を含む)とは、脳、神経、筋の先天異常、発達、機能障害、血管障害、腫瘍、老化、変性による疾患を指します。神経筋変性疾患は原因や病態が未解明で、治療法も確立されていないものが多く、病態解明や治療に結びつく、原因遺伝子または疾患感受性遺伝子、修飾遺伝子を明らかにすることが、きわめて重要となっています。 本研究では神経筋変性疾患の原因遺伝子または疾患感受性遺伝子、修飾遺伝子を明らかにし、それらの病態を明らかにすることを目的としています。
対象となる患者さん	愛知医科大加齢医科学研究所ブレインリソースセンター(AKBRC)に登録された患者さんで、病理学的に多系統萎縮と診断された方。
研究の方法	患者さんの病理組織試料を用いて、病気の原因を究明し、治療法を開発するために遺伝子解析を行います。研究計画書および研究の方法に関する資料は、愛知医科大学加齢医科学研究所のホームページから閲覧できます。
研究期間	倫理委員会承認日～2024年3月31日
研究に用いる試料・情報	試料:AKBRCに保存されている組織 情報:年齢・性別等
外部への試料・情報の提供	提供先:東京大学医学部附属病院神経内科 試料・情報と提供方法:AKBRCに保存されている組織・情報を郵送する
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用または提供を希望しない場合には、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学加齢医科学研究所 担当者:教授 吉田眞理 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内12091)